

11月に入ってから秋らしい晴天が続いて、紅葉も標高1000mふきんまで下りてきました。13日金曜日4時30分に松田を出発、河口湖付近で東の空には新月に近づいている上弦の月と金星が澄んだ空気の中くっきりと見えています。清里から野辺山までは道路脇の木々が色づいて自然のグラデーションが見事です。野辺山からの八ヶ岳の雪はとけて、岩肌が青黒く、枯れた草が金茶色になって谷筋のコントラストをくっきり際立てています。気温はこの時期にしては高めの2℃、山荘には8時に到着しました。尾方さんが到着するまでにキャビン・ホールの鍵を開けて作業の準備をします。すると、尾方さんから遅刻すると連絡があり、薪割りでもして待つことにしました。ロングアックスで、1時間。リヤカー3杯分の薪を作ることが出来ました。



薪の水分量は13%で、カラカラに乾燥しています。気温は5℃ぐらいでしたが、すぐにフリースを脱ぎ長袖Tシャツ一枚になって気持ちいい汗をかきました。久しぶりの薪割りで、両手の握力が無くなってしまいました。尾方さん到着！今回の課題は台所の調理台、流し台、洗面台とカウンター作りです。24mmのコンパネで台を作って、そこにステンレスの流し台をはめ込みます。



ステンレスの流し台は大自然のひろばの倉庫裏に捨てられていたものを、よこはまに持ち帰り、高圧洗浄機と重層を使用して磨き上げたものです。尾方さんがジグソーを使ってコン



パネに穴を開けて、ぴったり流し台をはめ込んでいきます。右側が調理台で倉庫に置いてあった白いタイルを貼る予定、左側は洗面台で、洗面器を探しています。現場に合わせて手作りの台所・洗面所が出来上がりました。春になったら配管と給水工事を行えば機能的な施設になります。

11月14日(土) 気温3℃ 室内16℃ 6時50分起床(寝坊した) 快晴

昨日の薪割りで、握力が無い!腰も少し痛く筋肉痛です。ジュースとヨーグルトで朝食。

8時から薪割り、今日は薪割り機を使って太い玉切りした唐松を薪にしていきます。流石破壊力11tの力持ちで太い丸太もドンドン破壊していきます。朝は寒いのですが薪割りで身体が温ま



ります。8時50分頃に宇津木さんと木場さんが到着。宇津木さんはBS豊島12団の元スカウトでシニア時代にログハウスの建築を手伝っていたという人物、現在48歳で、ビル管理会社の取締役です。木場さんは職場の同僚で、二人でキャンプや山歩きが趣味と伺いました。今夜はログハウス建築当時の話を聞けそうです。(豊島12団は1995年に消滅)

天気も良いので早速、荒船山登山に出かけました。最初はキャンプをしたいと申し込んできたのですが、夜は気温が0℃以下になるので冬用の装備が無ければ

おすすめしないと連絡して、スリーシーズン用の寝袋しか無いので、ログハウスに泊まることにしていただきました。クマも居るから、安全第一です。

尾方さんが到着したので、昨日の続き台所の作業を開始します。私は調理台に張る「タイル」が足りるのか確認しながら、30年近く置きっ放しになっていた汚れたタイルを一枚一枚磨く作業



です。面積を計算したところ200枚は必要となります。

尾方さんは台所とホールをつなぐカウンターを設置、この材料も材木屋さんから頂いたもので、何でも上手に利用してしまう尾方さんだから出来る技です。感謝!

昼食はパスタとフランスパン、牛乳で軽く済ませました。13時ごろ荒船山登山から二人が帰ってきました。山

の様子や自己紹介などをしているとたちまち30分ぐらい話してしまいました。午後からタイルを貼る予定でしたが

タイルを切るダイヤモンドカッターが無いので、作業は次回

と言うことになり、尾方さんは東御の別荘に帰宅しました。

二人に場内を案内して、当時あった4つのキャンプサイトについて、水はけや水場からの距離など現在ホールを作っているところは、雨が降ると泥濘んでいたそうです。朝の作業で薪割りをしていたま

まになっていて、天気も良いのでそのまま乾燥させていました。二人に「薪割りやってみる」と問いかけると・・・「やります!」とても元気です。

薪のどこを狙うのかとロングアックスの使い方と持ち方を少し教えて作業開始!ところが割れません、20回ぐらいアックスを振り下ろしてやっと割れ始めました。あまりアドバイスしないようにして、見ていたら30回目で丸太は2つに割れ、それからは少しコツをつかんだのか、力の入れ方が良くなったのか?少しずつ上達していきました。1時間ほど作業して、良い運動になりました。



15時過ぎに二人は食料の買い出しに行くことになり、佐久市内の市役所隣にある「ツルヤ」を紹介しました。ここに行けば何でもそろいます。



夕飯は焼き肉とサラダ、そしてビールと焼酎のお湯割。薪割りをして二人とも薪ストーブに興味津々です。炊いたことがないというので、基本的な構造と炊き方、温度の上げ方などをレクチャーしてまずやってみることが大切！もちろん最初は失敗です。キャンプ経験がある二人ですがなかなか太い薪まで燃えてくれません。苦戦していましたが私は手出ししないようにして、やっと炎が上がり始めました。若い（36歳）木場君は燃え上がるストーブの炎をずっと見えています。そこで、ファイアーキーパーに任命して、薪ストーブの温度を150℃以上に保つようお願いしました。喜んで引き受けてくれたので一晩中暖かく過ごすことが出来たのです。宇津木君はスカウトだったので「ファイアーキーパー」の意味を説明してくれて薪運びも仕事だよ、と教えてくれました。話は30年前のログハウス

建築当時の様子になり、まずこの場所に来る交通手段が大変だったことです。コスモス街道（R254号線）と星尾林道は砂利道で、内山大橋も無かった。バスは今よりも本数があったようですが、砂利道を重いリュックを背負って歩いたことや、新幹線はありませんから在来線（小海線）で時間がかかったことなど皆さん苦勞していたようです。でも、それが当たり前だから苦勞とも感じなかったのでしょう。ログハウスは基礎からログ（丸太）を6段目まで積んだところからは専門家（大工）に依頼して建築したそうです。ジャンボリーなどには参加していたようで、第9回蔵王のジャンボリーの思い出などを話してくれました。木場君は離島の観光にはまっていて、最近御蔵島に行ってきたと話していました。星の観察も好きというので、今夜は新月だと教えてあげると、早速外に飛び出していきました。雲も無く満天の夜空が広がっています。

24時ごろまで話をしていましたが、登山の疲れもありそろそろ寝ようかと、明け方は冷えるので二人にはロフトで寝てもらうことにしました。ファイアーキーパーの活躍でロフトの温度は26℃・・・暖かいです。

11月15日（日） 2℃ 17℃ 晴れ 6時起床



二人は昨夜、飯ごうで炊いたご飯とインスタント味噌汁にレトルト食品で朝食。私は野菜ジュースに牛乳。何か作業することがあるなら手伝いたいとの申し出があり、それでは昨日割った薪と乾燥中で地面に落ちてしまった玉切りした丸太を運ぶことにしました。9時ごろから作業開始！リヤカーで運搬してハウスの中に積み上げていきます。2時間ほどで作業終了！一人でやったら半日かかってしますので助かりました。渋滞が始まる前に帰りたいので11時ごろには二人はパジェロに乗って帰宅しました。当時の仲間を連れて来るようお願いしておきました。私も戸締まりをして12時には山荘を出発、松田まで帰ります。



次回は11月26日頃から電気工事を行います。